幼児と人間関係

科目ナンバリング　ESS-110
選択　　2単位

金子　嘉秀

1. 授業の概要（ねらい）

1）主体性、自己抑制などの非認知的な能力をはじめ、集団の中で他者と関わり方・規範意識などを子どもが身に付けてゆく過程や、
保育者による子どもの育ちを支えるための環境設定や、言葉がけなどを通した保育実践方法の基本について学ぶ。

2）幼稚園教育要領・保育所保育指針などに新たに示された育みたい資質・能力、領域「人間関係」のねらい・内容について、
これらの内容が重視されるようになった社会的背景や、発達段階に関する科学的知識を踏まえて理解し、
乳幼児が幼稚園・保育所での遊びや生活において経験・獲得していくための具体的な援助・助長の方法を考える。

2. 授業の到達目標

1）領域「人間関係」のねらい・内容や関連する非認知的能力、
能力の養成されるようになった社会的背景などについて、
具体的な保育場面をイメージしながら基本的な説明ができるようになる。

また、2）領域に関わる短時間の部分保育案を作成でき、
保育者として「人間関係」を援助助長する基礎的な知識・技術・判断力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の個人ワーク（50%）、ならびにグループワーク（50%）により評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
岩立京子・西坂小百合　『保育内容　人間関係』　光生館
文部科学省　『幼稚園教育要領』
厚生労働省　『保育所保育指針』

5. 準備学修の内容

適宜配付資料を用いながら、授業を進める。
教科書など、購入の必要が書籍・教材がある場合は別途指示する。
配付された資料については、翌週の授業までに読み直して復習を行うこと。

6. その他履修上の注意事項

個人での事例検討や、グループワークなどを通して、
自らの考えをまとめたり、発表するなどして主体的に学びを深めていく科目です。
受講生の皆さんの積極的な授業参加を期待します。

7. 授業内容

【第1回】　今日の子どもを取り巻く社会的環境と領域『人間関係』
【第2回】　幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容理解①　保育内容『人間関係』の歴史的変遷について
【第3回】　幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容理解②　比較分析と具体例を通して特色を理解する
【第4回】　人との関わりを育てる保育者の役割と援助①　自立心を育てる保育とは
【第5回】　人との関わりを育てる保育者の役割と援助②　仲間関係・協同することのよさを伝える保育方法について
【第6回】　人との関わりを育てる保育者の役割と援助③　良いことや悪いことなど社会規範を体験しうる保育
【第7回】　人との関わりを育てる保育者の役割と援助④　プロジェクト活動とは
【第8回】　他者との関わりを育くむ、家庭支援・地域連携のあり方
【第9回】　葛藤場面における保育者の関わりについて
【第10回】　ウェブマップ作成を通じた保育計画と環境構成
【第11回】　乳児保育(0歳児保育)における人との関わり　-ノンバーバルコミュニケーション・マザーリング・共同注視-
【第12回】　低年齢幼児（1、2歳児）の保育における人との関わり　-言葉を育てる関わり・情緒や意欲を育くむ関わり-
【第13回】　社会的スキル（ソーシャルスキル）とは何か
【第14回】　社会的スキル（ソーシャルスキル）の援助助長方法の検討と評価
【第15回】　まとめ